

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 (4) 只見町産米のブランド化・六次化を支援
農林中央金庫福島支店（福島県）

新規	継続
○	
	(平成 年 月)

1 動機 (経緯)	只見町を含む中山間地域の農業は、担い手の減少等による農業生産基盤の弱体化が懸念される状況にあります。これを踏まえ、只見町の地元農業者等が出資し、農業法人ねっかを立ち上げ、只見町の主要産業である水稻の六次産業化に取り組みながら、地域農地の維持・拡大や作業の効率化、低コスト化等を進めています。
2 概要	農業法人ねっかは、稲作栽培に加え、経営の安定化を図るため、水稻の副産物である小米（こごめ）を活用した米焼酎の製造販売に取り組むこととし、米焼酎の製造設備を導入しました。 当社が取得した地域の特産品を主原料とする「特産品しょうちゅう」の製造免許は県内で初めての取得となります。 農林中央金庫は当事業を進めるコンソーシアムに立ち上げから参加。資金計画策定その他、コンソーシアム参加団体間の調整等の役割を担い、当該事業をサポートしました。（金融面では、日本政策金融公庫と連携し、H29年2月に融資を実行）
3 成果 (効果)	本融資実行により、当社の稲作栽培と米焼酎の製造販売をセットとしたビジネスモデルを後押しし、地元産米のブランド化や地域活性化につながることを期待されています。
4 今後の予定 (課題)	引き続き、経営面の助言や資金面のサポートを行うとともに、米焼酎の生産・販路拡大のサポートも行い、当社の農業振興・地域活性化の取組みを応援していく予定です。



合同会社ねっかの役員のみなさん



米焼酎製造の様子